

# エレキテル模型キット取り扱い説明書

千葉県立現代産業科学館



使い方と注意をよく読んでから実験してください。

安全のため、この説明書にある使い方を必ず守ってください。また、使用中に破損、変形してしまった部品は使用しないでください。

とがった部品の取り扱いには十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

ネジなど、小さな部品があります。誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。

不意に他人を感電させないでください。思わぬ事故のもとになります。

**!!発生する静電気そのものは、電流量が少ないため直接人体に害を与えませんが、ショックに弱い方や心臓ペースメーカーをご使用の方は実験しないでください!!**

## 付属品

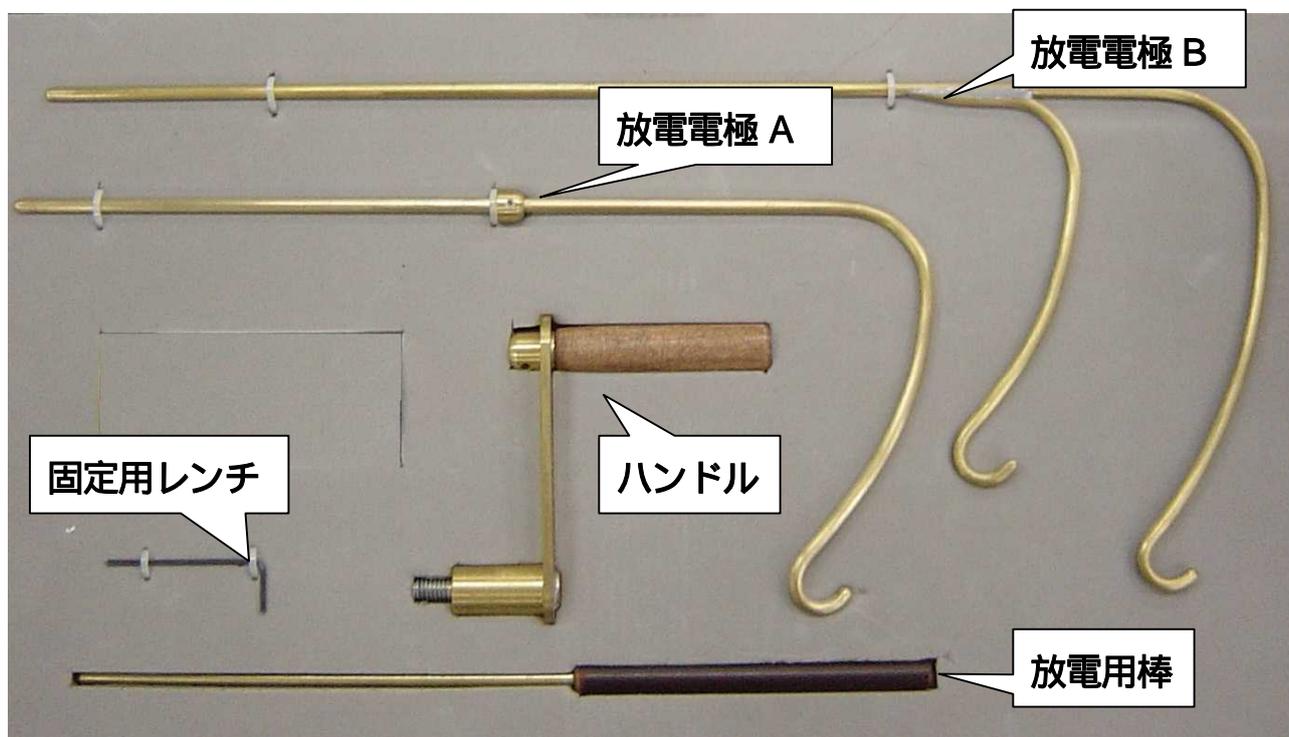
真鍮の放電電極 A

真鍮の放電電極 B

固定用六角レンチ 1本

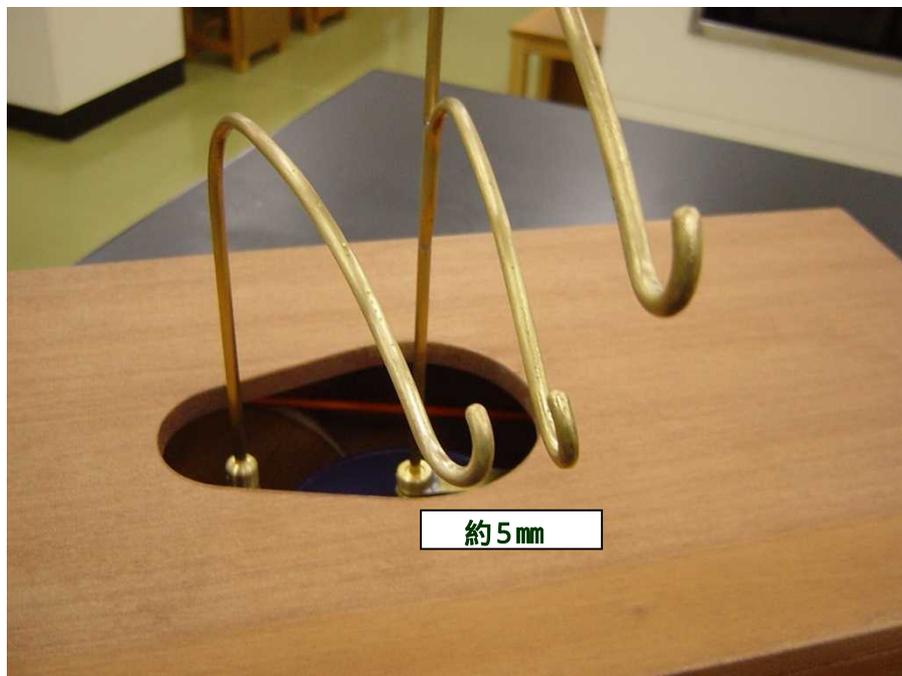
ハンドル 1本(ねじ込み式)

真鍮の放電用棒 1本

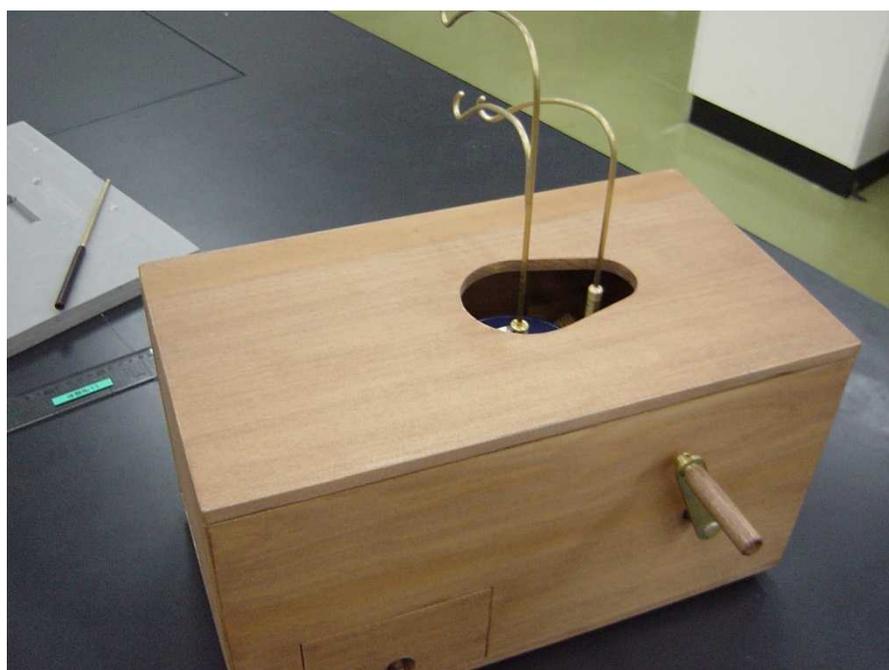




ふたをしてから、放電電極の間隔を調整する。



完成



## 発電実験

時計回りにハンドルを回します。

回し続けると、放電電極間に火花が飛びます。

火花が飛ぶのは20回転に1回くらいの割合。

火花が発生しない場合は

- ・ 電極の間隔を調節する。
- ・ 枕の下につながる真鍮の棒が穴からずれていないか確認してください。
- ・ 湿度を確認する。[湿度が高いと放電しません。]



ガラス円筒(回転部分)の表面が汚れることが起電性能に与える影響が最も大きいので以下の点に注意してください。

- ・ 手の油や汚れがつくことを防ぐためガラス円筒を素手でさわらない。

## < 静電気で感電しないために >

- ・ 同時に両方の放電電極にふれると感電します。
- ・ 写真のように放電棒を一度に両方の放電電極にふれさせれば、感電せずに電気を逃がすことができます。



発生する静電気そのものは、電流量が少ないため直接人体に害を与えませんが、ショックに弱い方や心臓ペースメーカーをご使用の方は実験しないでください。

## 収納

- ・実験後は、付属品を確認し、写真のようにベルトで固定してから収納ケース (W430×D290×H320mm 突起部含む) に入れてください。



### <お願い>

- ・不具合や破損などがあった場合はすぐに担当までお知らせください。
- ・使用記録への記入をお願いします。



千葉県立

現代産業科学館

CHIBA MUSEUM OF SCIENCE AND INDUSTRY